

FISHING カレッジ 2009

1月講座
ワカサギの資源と遊漁活用
日本のゲームフィッシュ

日時

2009年1月13日(火) 午後6時半より

場所

東京海洋大学品川キャンパス
7号館1F 多目的交流研修室

参加費 無料

どなたでも参加できます。申し込み不要。当日は遅れないように大学にきてください。(満員の際はお立ち席になることがあります。)

講座概要

第1部 ワカサギの資源と遊漁活用
漁業から遊漁への切り替え作戦
講師 工藤 貴史
(東京海洋大学 助教)

第2部 日本のゲームフィッシュ
多種多様な日本の釣り対象魚について
講師 奥山 文弥
(東京海洋大学 客員教授)

誘いの言葉

奥山 文弥
(東京海洋大学社会連携推進
共同研究センター客員教授)

真冬の風物詩ワカサギ釣り。普段釣りをしない人でも観光地でワカサギ釣りをしたりします。有名だった氷上の穴釣りに加え、最近ではドーム船釣りが人気です。そのワカサギは実はほとんどが他の湖からの移入です。漁業対象として期待されましたがその実態は、、、?? 工藤先生の解説で釣りが深くかかわっていることがわかるでしょう。

四方を海に囲まれ、海水魚のみならず淡水魚も豊かな日本での釣りは多種多様。どれから始めるか、どれが面白いのかわかりません。実はすべて楽しいのですから、その特徴を奥山がお話いたします。